2　緊急消防援助隊の活動

緊急消防援助隊とは、国内において大規模災害又は特殊災害が発生し、被災地の消防力のみでは対応困難な場合に消防庁長官の求め、又は指示に基づき応援を行うことを任務としており、都道府県単位で部隊が編成される隊のことです。

平成 28 年中は、東京都に出動要請があった大規模災害が 2 件あり、東京消防庁の部隊を派遣しました。

2－1　熊本地震への対応

＜災害の概要＞

平成 28 年 4 月 14 日 21 時 26 分頃、熊本県益城町で震度 7 を計測する地震が発生し、大規模な被害をもたらしました。

さらに、4 月 16 日 1 時 25 分頃にも震度 7 を計測し、その後も余震が頻発するなど、※死者 228 名、火災 15 件等の被害が発生しました。

※総務省消防庁調べ
（平成 29 年 4 月 13 日現在）

＜当庁の活動＞

平成 28 年 4 月 16 日 4 時 38 分、消防庁長官から東京都知事に対して緊急消防援助隊の出動要請があり、これを受け当庁から消防ヘリ 1 機を熊本県に派遣しました。

現地においては※ヘリサットによる情報収集、被害状況調査等を行い、翌 17 日に現地での任務を終え、帰庁しました。

※ヘリサットとは、ヘリによる空撮映像を直接、通信衛星に伝送するシステムのことで、本システムの活用により、全国どこからでもヘリ映像を中継することができます。

写真 12　当庁ヘリによる情報収集活動

写真 13　熊本県防災航空隊での活動調整

＜時系列＞

日　時	内　　容
4 月 14 日　21:26	熊本県益城町で震度 7 の地震発生
4 月 16 日　1:25	熊本県益城町、西原村で震度 7 の地震発生
4:38	消防庁長官から東京都知事へ緊急消防援助隊の出動の求め
6:50	消防ヘリ「おおたか」出場・多摩航空センター離陸 （当庁 6 名・総務省消防庁 2 名）
13:55	消防ヘリ「おおたか」　熊本空港到着　活動開始
4 月 17 日　12:45	消防ヘリ「おおたか」　現地での活動を終了　熊本空港離陸
17:45	消防ヘリ「おおたか」　多摩航空センター到着

2−2　岩手県岩泉町への対応

＜災害の概要＞

平成 28 年 8 月 30 日 18 時頃、大型で強い台風 10 号が岩手県大船渡市付近に上陸し、北海道・東北地方において、死者・行方不明者 27 名、全壊建物 513 棟という甚大な被害をもたらしました。

＜当庁の対応＞

平成 28 年 8 月 31 日 11 時 45 分、消防庁長官から東京都知事に対して緊急消防援助隊の出動要請があり、これを受け当庁から※指揮支援隊 1 隊及び消防ヘリ 1 機を被害の大きい岩手県岩泉町に派遣しました。現地においては、地元消防本部における指揮支援活動やヘリサットによる情報収集等を実施し、10 日間に渡り航空機延べ 2 機、人員延べ 19 名を派遣しました。

※指揮支援隊とはヘリコプター等で迅速に現地に展開し、被災状況の把握、消防庁との連絡調整、現地消防機関の指揮支援を任務とする隊です。

写真 14　当庁ヘリに搭乗する隊員

写真 15　空撮による岩泉地区被害状況

写真 16　岩泉消防署における指揮支援活動

写真 17　消防隊による重機を活用した検索活動

＜時系列＞

日　時	内　　容
8 月 31 日 10:45	消防庁長官から東京都知事へ緊急消防援助隊出動の求め 消防ヘリ「おおたか」指揮支援隊（1 隊 3 名）を搭乗させ岩手県へ出場
14:38	消防ヘリ「おおたか」花巻空港到着　以後、岩手県岩泉町の情報収集
17:00	指揮支援隊 宮古地区広域行政組合消防本部に到着 指揮支援活動を開始
9 月 2 日 10:45	指揮支援隊及び航空小隊の交代要員、岩手県へ出場
9 月 5 日 10:55	指揮支援隊の交代要員、岩手県へ出場
18:10	消防ヘリ「おおたか」現地での活動終了　花巻空港離陸
9 月 9 日 12:00	指揮支援隊の任務終了（消防庁長官引揚決定通知）
12:25	指揮支援隊　現地引き揚げ